

石膏ボードへの施工の場合

工程1 ■ 下地処理

- ① 石膏ボードは JASS26(内装工事)に準じて、正しく貼り付けを行ってください。
- ② ボードジョイント部分へファイバーメッシュテープの貼り付けを行ってください。
- ③ フィラーエース(弊社推奨)もしくはパテにて、下地処理を行う。塗り付け1回目は、ファイバーテープ幅・ジョイントの凹み部分を重点に塗り付け、2回目は左右に 10 cm程度の塗りしろを設け平滑に塗り付けを行ってください。同時に取付ビス穴も埋め込みを行ってください。

※フィラーエースもしくはパテ処理の【1回目～2回目】への塗り付けの際は十分に乾燥させ、次工程へ進むことをお勧めします。

※乾燥養生期間:1日以上を要する

工程2 ■ 下地表面処理(水溶性シーラーもしくはフィラーエース)

【表面処理剤 液体「水溶性シーラー」をローラー又は刷毛にて塗布を行い処理する方法】

or

【NS フィラーエース(弊社推奨)を、壁全体へ金ゴテにて塗り付けを行い処理する方法】

※フィラーエースは水溶性シーラーと比較し材料のコストアップとなるが、下地処理の時間短縮化と仕上げ塗りの際の色ムラや、付着強度の向上となるため、クラック発生等の軽減が得られます。

※乾燥養生期間:1日以上を要する。

工程3へ⇒

コンクリート面への施工の場合

工程1 ■ 下地処理

- ① 施工前に躯体側の精度を確認してください。
- ② 塗面に対し凸部分はケレン処理を行い凹部分はモルタル補修・乾燥養生を行い処理したのちに、表面に付着しているほこり・油分・カビ等の処理を行い工程2へお進みください。

※ブロック構造の躯体の場合は上記と同様の処理を行い壁全面を軽量モルタルにて平滑に塗付け処理を行ってください。

※乾燥養生期間 1～3 日以上要する

工程2 ■ 下地表面処理

表面処理剤 液体「水性カチオンホワイトシーラー」をローラーまたは刷毛にて塗布を行い処理する。

※フィラーエースをシーラーの上から塗布することにより、付着強度の向上によるクラック発生等の軽減が得られます。

※乾燥養生期間 1 日以上要する。

工程3へ⇒

合板への施工の場合

工程1 ■ 下地処理

- ① 合板を JASS26(内装工事)に準じて正しく貼りつけを行ってください。
- ② 合板アク止め処理として、液体「水性カチオンホワイトシーラー」原液をローラー又は刷毛にて塗りムラが無いよう塗布を行い処理とする方法(※2回塗り厳守、十分な乾燥養生)

※乾燥養生期間 1日以上要する。

- ③ 合板ジョイント部分へファイバーメッシュテープの貼りつけを行ってください。
- ④ フィラーエース(弊社推奨)もしくはパテにて下地処理を行う。塗り付け1回目はファイバーテープ幅・ジョイントの凹み部分を重点に塗り付け、2回目は左右に約 10 cmほどの塗りしろを設け、平滑に塗り付けを行ってください。同時に取付ビス穴も埋め込みを行ってください。

※フィラーエースもしくはパテ処理の【1回目～2回目】への塗り付けの際は十分に乾燥させ、次工程へ進むことをお勧めいたします。

※乾燥養生期間 1日以上要する。

工程2 ■ 下地表面処理

- ① 表面処理材 液体「水性カチオンホワイトシーラー」をローラーまたは刷毛にて2回塗りにて塗布を行い処理とする。

※シーラー塗布2回厳守(怠るとシーラー塗りムラ部分より合板のアクによる汚れが発生あり)対策として1回目と2回目との間に乾燥養生を十分に置き作業を行うことをお勧めいたします。

※乾燥養生期間 1日以上要する。

- ② NS フィラーエースを、壁全体へ金ゴテにて塗り付けを行い処理する。

工程3へ⇒

工程3 ■ 材料の攪拌

- ① きれいな水(水道水)9kg・バケツ・ハンドミキサー(変速タイプ)を用意してください。
 - ② 攪拌の際は、まずバケツに水4割程度を入れ本製品約6割を2～3回に分け投入を行いながら、攪拌してください。
 - ③ ハンドミキサーの取り扱いとして最初の投入の際は低回転にて混ぜ、製品を6割投入した後に、高速回転にて約2分攪拌を行うことが望ましいです。
- ※練りの硬さの目安として、ハンドミキサー先端より徐々に落ちる程度の硬さが施工の際に最適です。水分が足りないと感じる場合には、少しずつ加水してください。

工程4 ■ 上塗り仕上げ

1回目：壁全体に金ゴテにて擦り付けるように薄塗りで伸ばし、塗り付けを行ってください。(塗り厚の目安：0.5～1.0 mm以内)

2回目：1回目下塗り後指先で塗り面に触れ、材料が付着しない程度を目安に、1回目同様塗り付けを行います。(塗り厚の目安：1.0～1.5 mm以内)

3回目：材料は足さずに追っかけて各種仕上げ道具にて模様付けを行ってください。

※上塗り仕上げのタイミングは季節や天候に左右されるため、十分に塗り面の乾きの状態を見極めた上で施工を行ってください。

※1回目を前日に行い、翌日に2回目を行うことを厳禁とする(ひび割れ等の原因となる)

【参照】 弊社推奨下塗り材
NS フィラーエース
製造元：日本化成株式会社

株式会社 沖坤

〒905-2173

沖縄県名護市字久志 521 番地 6

〔TOKYO OFFICE〕